

「おっさんよ、夢を持て」

星野・名誉会長 元球児にエール

マスターズ甲子園



マスターズ甲子園2005について会見する大会名誉会長に就任した星野氏

元高校球児らを対象にした野球大会「マスターズ甲子園2005」（11月5、6日、朝日新聞社特別後援）の記者会見が18日、会場となる兵庫県西宮市の阪神甲子園球場であり、今回から大会名誉会長に就任した星野仙一・阪神シニアディレク

ターが大会の意義などを語った。

星野氏は倉敷商高（岡山）3年の夏に東中国大会決勝で敗れ、全国大会出場を寸前で逃している。「夢をもう一度与えてくれる素晴らしい大会。野球人としてお手伝いすることにした」と就任の理由を話した。中日投手時代は何度も登板

し、阪神監督としてリーグ優勝の胸上げも味わった甲子園について、「いつ来ても青春を取り戻せる」と魅力を口にした。

昨年につき、2度目となる大会には28都道府県から641人が参加する。19歳から70歳と世代は多彩だ。星野氏は「普段は定年や孫の話をする人も多いだろうが、おっさんよ、立て、夢を持て」とエールを送った。大会は兵庫県から、阪神・淡路大震災10周年記念事業として認定され、三国丘（大阪）、熊本商など各地方予選を勝ち抜いた10のOBチームの試合などがある。星野氏も最終日に、キャッチボールを披露する予定だ。